



はが・まさき ●昭和45年2月生まれ。渡瀬字西野沢在住。福島交通(株)石川営業所勤務。趣味はウォーキング。常に感謝の気持ちで忘れないよう心掛けている。

鮫川に来て今年で十五年になります。それまでは埼玉の郊外に住んでいた自分にとって自然が豊かで季節感あふれる環境は驚きでした。広がる山の緑、夜空に輝く星のうつくしき、澄んだ空気、おいしい水、歩けば植物や虫や動物で季節を感じる事ができます。江竜田の滝は、自宅から歩いて十分くらいなので子どもを連れての散歩コースになっています。一面を緑に囲まれ、滝から流れる水の音に癒されます。遊歩道は歩いて一時間、川沿いは夏の時期は涼しくて気持ちがいいです。最近では、勤務地石川町の山を仕事の空き時間を利用して歩いています。山四十

村民【随想】リレー ①80

芳賀正樹さん

自然を歩く

分コース、山六十分コース、街平坦四十〜八十分コースを体調と時間に応じて歩きます。足腰の強化に良いし、早いペースで歩けば心肺機能の強化にもつながるみたいです。運転が仕事の私にとって手軽な運動不足解消法になっていきます。走るのが苦手という方にはおすすすめです。健康には走るのと同じくらいの効果があるそうです。近頃、五月に二歳になった娘は外で遊びたがり、咲いている花や飛ぶ鳥を見て喜んでいきます。今度一緒に自然の中を歩きたいです。

分コース、山六十分コース、街平坦四十〜八十分コースを体調と時間に応じて歩きます。足腰の強化に良いし、早いペースで歩けば心肺機能の強化にもつながるみたいです。運転が仕事の私にとって手軽な運動不足解消法になっていきます。走るのが苦手という方にはおすすすめです。健康には走るのと同じくらいの効果があるそうです。近頃、五月に二歳になった娘は外で遊びたがり、咲いている花や飛ぶ鳥を見て喜んでいきます。今度一緒に自然の中を歩きたいです。

さめがわを 彩る集い 13

米作りで都市と農村の交流を



山王の里 田んぼのオーナー

栗原勇三代表

平成二十一年から始まった「田んぼのオーナー制度」。稲作を体験したいというオーナーを募集し、年三回、田植えと草取り、収穫に鮫川村を訪れます。現在は、都内を中心に二十人のオーナーが参加しています。さめがわライフサポート(蛭田晃代表)のメンバーが指導者を務めるほか、水管理や草取り、肥料散布など、技術面の支援をしています。都会では、農業の実体験をしたいという人も多く、訪れたオーナーの人たちも新鮮に感じているといます。また、素朴な里山景観や地域の人のあたたかさを感じているとの感想が寄せられています。さらに、受け入れる地域の人もオーナーとの交流を楽しみにしています。これからは都市と農村の交流の手伝いをしていきたいと意気込みを話してくれました。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
鮫川村図書館 ☎ 29-1150

あん

(ドリアン助川著、ポプラ社)

誰にも生まれてきた意味がある。町の小さなどら焼き店のバイトの求人にやってきたのは、手の不自由な老女だった。50年作ってきたという「あん」は素晴らしいものだった。だが、偏見の中に人生を閉じ込められてきた壮絶な過去が…。

すうじだいぼうけん

(宮下すずか著、偕成社)

真夜中、本の数字たちが遊んでいます。時計の数字たちもハラハラドキドキの冒険をはじめます。数字って面白い! 楽しく遊んで学べるストーリーです。

第3土曜日は 家族一緒に読書の日

俳句

六魂祭あやめつじの花が咲く 中井 恒峯
良き友を持てる幸せ夏に立つ 小松ハル工
活けてある麦の穂青く里を恋う 齋須 信子
湘南の子育て記録桃葉の湯 黒田 寿香
フクシマは蛇の生殺し天気雨 土竜 庵
風薫る原発事故さえないなら 鈴木 米子
久慈川に釣糸垂れる人数多 松本 精一
五月晴の朝夕冷気に包まれる 北條素人坂
ほととぎす一声涼し雨あがり 前田 縫子
菩提寺に修復足場雨間近 山本 恵子
あやめ咲く白を母への供華とせん 山本五十鈴

短歌

月に添う金星の光に魅せられて ウォーキングの歩を止めており 鈴木イミ子
冗談も程々という施設にて人らは 待つも笑いの種を 前田 初
都会に住む肉親に送る米 野菜皆 おふくろの味惚ばせて 佐藤 春枝
畑の土見れば今年も耕すと思う 八十路の身も顧みず 矢吹 定子
花物の数々咲かせ膨らます美の創造と 自然の愛を 須藤 幸子
残照に夢の雲ありほんのりと染めし小山に鳥らも歌う 水野 珠子

想い出の旅の写し絵若き日の夫と 共の夢も甦る 関根 瑞恵
友にやり知人にも分け重宝のアスパラガスは今年も育つ 溝井 清乃
先祖より賜りし畑は肥えていて作る野菜のすくすく育つ 坂本 伊紀
遺るかなわが言の葉や著書などを 検索してみる米寿の日々に 一平 子
我が庭に連れ立ち遊ぶ子等を見て 一緒に大声和むひと時 石井 幸子
乾ききる畑の野菜に水懸けの異常気象に日々のなやみ 須藤シツ工
夢もなし希望もうせて長命の一人 暮らして何の意義あり 松本 一郎
草の中紅い頭を覗かせて番の雉か 仲良くあそぶ 前田喜三子
爽やかな風渡り来る早苗田に白鷺 二羽の舞え下りて遊ぶ 藤田千代子
静なる朝早くから聞こえる夫が 草刈るエンジンの音 関根ハナヨ
異常なる渇水となり田植えさへ進まず嘆く雨待つ農は 関根 富久
新緑に心惹かれて山峡に旬の山菜 採れば香たつ 板橋 源良
牛のお産見守る真夜の高きよりホトトギス鳴き声澄みとおる 関根キヌ子
悲しみや苦しみ人生みな同じ笑顔 や涙は生き甲斐の明かし 矢吹 一二
機械植え終りし後の補植済み休めばそよ風われを和めり 北條 平

若者の広場 No.103

Young Plaza

下重成美さん

■今、夢中になっていることは何ですか？

頻繁に洗車をします。月に2回から3回くらいで、友達には「病気」と言われてしまいます。洗車したあとのスッキリ感が好きなんです。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

介護福祉士の仕事をしています。なるべくお年寄りと接してきたいので、体力が続く限り現場で働きたいと思っています。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

鮫川村の星空が大好きで

す。中学生までは、何もなくて不便な所だと思っていましたが、一度村外で生活したことで、村のいいところに気がきました。静かで空気も緑もきれいです。

■これからの鮫川村に望むことはありますか？

私が小さかったころより人が少なくなってきて、地域ごとの交流する場が減って関わりが少し薄くなっているように感じます。村を離れた人が戻ってくるような住みやすい環境をつくってほしいと思います。

次は矢吹圭佑さん（赤坂西野字前折戸在住）の予定です。

鮫川村の星空が大好きです



しもじゅう・なるみ
平成3年9月28日生まれ 21歳
B型 てんびん座
趣味は買い物と遠出をすること
渡瀬字関口在住

| | | | | |
|-------------|----------|-----------|----------|----|
| 【男子卓球部】 | 予選リーグ通過 | 順位決定戦 第3位 | 対表郷中 2対0 | 勝利 |
| 【女子バレーボール部】 | 予選リーグ通過 | 準決勝リーグ通過 | 対白二中 0対2 | 惜敗 |
| 【男子バレーボール部】 | 予選リーグ 敗退 | 対中島中 0対2 | 惜敗 | |
| 【軟式野球部】 | 対棚倉中 2対4 | 惜敗 | | |
| 【男子卓球部】 | 予選リーグ通過 | 準決勝リーグ通過 | 対白二中 3対1 | 勝利 |
| 【男子バレーボール部】 | 予選リーグ通過 | 順位決定戦 第3位 | 対中島中 0対2 | 惜敗 |
| 【女子バレーボール部】 | 予選リーグ 敗退 | 対西一中 2対0 | 勝利 | |
| 【軟式野球部】 | 対棚倉中 2対4 | 惜敗 | | |

県南総合体育大会で大活躍

六月五日、六日、十二日の三日間、中体連県南総合体育大会が開催されました。各部ともこの大会のために練習に励み、県大会出場を目標に頑張ってきました。結果（団体戦のみ）は次のとおりです。

学校だより

(105)

鮫川中学校編

【女子卓球部】

予選リーグ 敗退
対須釜中 0対3 惜敗
対棚倉中 2対3 惜敗

【ソフトテニス部】

予選トーナメント 敗退
対郷中 1対2 惜敗

生徒たちは、仲間と励み合いながら一生懸命取り組み、本心に素晴らしい成績を収めることができました。今後も、鮫川中では学習と部活動の両立を図り、学校生活を充実させるよう指導してまいります。

生徒会総会が行われました

五月八日、第一回生徒会総会が行われ、今年度の生徒会の活動内容や予算などが審議されました。

総会では、「六つの校風」が確認され、

よりよい鮫川中学校をつくらため取り組み組んでいます。



(文・写真) 鮫川中学校

「皆さんに気軽に立ち寄って、茶を味わってほしい」と話す公子さん。



表

千家茶道教授の資格を持つ中井公子さん。

二十五年前、両親の看病のために退職し、時間ができたことをきっかけに茶道を習い始めました。学校事業の一環として小学生に教えているほか、自宅を訪れた人に一服点てることもあります。「敷居が高い」と思われがちですが、「難しいこ

とはない」と言い切る公子さん。茶道で最も大切なことは、茶を点てる亭主と客がお互いを尊敬し、おいしく楽しく茶を味わうこと。そして、心のこもった茶を点てるために、合理的でうつくしい動作が求められるといいます。また、茶を味わうほかに、茶碗などの茶道具や掛け軸を鑑賞したり、茶室や茶の香りを嗅いだり、

り、五感を使って楽しむことで感性を磨くことができます。さらに、道具やその取り合わせにこめられた亭主の心を読み解く知的な楽しさも加わります。「茶をいただくことで、穏やかで優しい心を抱かせてくれます。ぜひ、多忙な皆さんにも茶を味わっていただきたいです」と話してくれました。

むらの名人・達人 Vol.12

茶道

中井公子さん

なかい きみこ / 赤坂東野字広畑在住 / 79歳

茶道は敷居が高いものではない 相手を思いやる心が大切



茶道を通して、小学生に思いやりの心を身に付けてもらい、内面からうつくしい女性になってほしいと指導をします。